

- NEWS RELEASE -

全国500カ所の回収ボックス設置場所にて、メーカー問わず 役目を終えたステンレス製ボトルの回収と再資源化の取り組みを実施中 プロジェクト開始から4年間で約21万本分以上を再資源化へ

熱制御テクノロジーで世界をリードするタイガー魔法瓶株式会社（社長:菊池嘉聡、本社:大阪府門真市）は、持続可能な社会の実現のために、2021年10月よりメーカーを問わずご家庭で不要になった使用済みステンレス製ボトルの回収、再資源化に取り組んできました。開始から4年を迎えた本プロジェクトのステンレス製ボトルの回収実績をご報告いたします。

年々、多くの方に本プロジェクトにご参加いただき、直近の半年間では約6.6万本分、累計で約21.1万本相当（※）のボトルが集まりました。地方自治体や企業、学校機関などと共に活動を行っており、本年は新たに山形県や同志社大学がパートナーに加わりました。現在では全国500カ所にボトル回収ボックスを設置しております。

回収されたステンレス材・樹脂素材は新たな製品や工場内で再利用され、「サーキュラーエコノミー（循環経済）」の仕組みを支えています。資源を使い捨てにせず活かし続けることで、環境負荷を軽減し、持続可能な社会の実現を目指します。

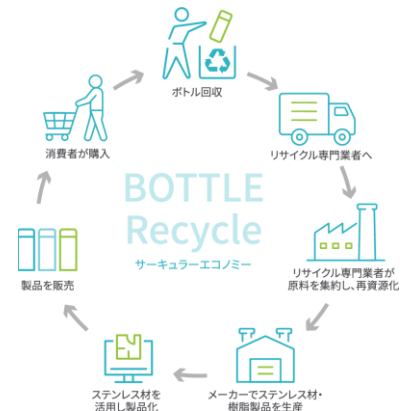
タイガー魔法瓶のサーキュラーエコノミー：開始から4年で約21万本分以上を回収！

回収したステンレス製ボトルの累計

約**211,000**本分相当 (約67,798kg)

※集計期間：2021年10月～2025年10月 ※ボトル1本=0.31kgで換算した場合（当社750mLボトルMTR-W075に相当）

これからもSDGs（持続可能な開発目標）への
貢献を目指しています。



RE:ボトル Webページ

<https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/feature/sdgs/>

タイガーボトルとSDGs特設ページ

健康配慮、人権配慮、環境配慮を実現するためにタイガー真空断熱ボトルでは、「NO・紛争鉱物」「NO・フッ素コート」「NO・丸投げ生産」「NO・プラスチックごみ」の4つの約束を掲げています。

<https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/feature/tiger-sdgs/>



※ ボトル1本=0.31kgで換算した場合（当社750mLボトル MTR-W075に相当）

※ 各自治体の回収場所（学校、公民館等）についてはまとめて1か所とカウントしております。

その他、イベント等で期間限定で回収を実施しているスポットもございます。

※ 各市外からの使用済みステンレス製ボトルの持ち込みについては受け付けておりません。

タイガー魔法瓶が構築したステンレス製ボトルの再資源化モデル

ステップ1

ステンレス製ボトルの回収



ご家庭で不要になったステンレス製ボトルの回収ボックスを全国500ヵ所以上に設置。まとめて回収することができれば、効率的なリサイクルにつながります。また、不純物の混入が抑えられるので、純度の高いステンレス原料を確保することができます。

▼回収ボックス設置場所はこちらから

<https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/feature/sdgs/shop>

ステップ2

リサイクル専門業者にて再資源化



回収したボトルをリサイクル専門業者に引き渡し。ボトル本体とせんに分けられ、ボトル本体からステンレス原料、せんからはPP樹脂(ポリプロピレン)原料が、再資源化されます。継続して回収を行っているステンレス製ボトルは、今後もリサイクル専門業者に定期的に引き渡しを行います。

ステップ3

リサイクル原料を使用し、 ステンレス材・樹脂製品生産



ステンレス原料は、ステンレスメーカーへ引き渡され、新たなステンレス材に生まれ変わります。PP樹脂(ポリプロピレン)原料は、樹脂製品メーカーへ引き渡され、樹脂製品(当社工場で使用する樹脂製ボックス)に生まれ変わります。

ステップ4

再生されたステンレス材を活用し製品化。 お客様のものとへ



ステンレス材は、みなさんの身近にある様々なステンレス利用製品に生まれ変わり、ご家庭へ。
※再生ステンレス材を利用した製品は、真空断熱ボトルのみとは限りません。

<タイガー魔法瓶 本プロジェクト担当からのコメント>

これまでステンレス製ボトルがご家庭から廃棄された場合、回収後の分別がリサイクル工程で大きな負担となっていました。この取り組みでは、素材がステンレスであることが明白なステンレス製ボトルを一定量まとめて回収することができます。そのため、リサイクル専門業者での再資源化の際に、従来の多種金属が混在した状態からステンレスを取り出す場合と比較して、作業の手間を省くことができます。また、不純物の混入が抑えられるので、純度の高いステンレス原料を確保することができます。

年末の大掃除などで、もし役目を終えたボトルが出てきましたら、当社設置の回収ボックスにぜひお持ちください。生活に身近な「水筒」が地球環境や未来を変える第一歩に繋がれば嬉しく思います。



参考 | タイガー魔法瓶 環境配慮の取り組みを紹介

①タイガー魔法瓶整備済み再生品「タイガー リファービッシュ」

様々な理由で弊社に戻ってきた商品を廃棄するのではなく、弊社の原点である「真摯なものづくり」の姿勢と技術で再生し、再びお客様のもとへお届けします。お客様に「高品質な製品をお求めやすい価格で手に入れ、安心して長く使う」という、環境にもやさしい新たな選択肢をご提供することで、製品ライフサイクル全体で「つくる責任」を果たし、サーキュラーエコノミー（循環経済）の実現を目指します。

URL | <https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/product/refurbished/>



②補修用性能部品の10年保有による長期使用の促進

弊社では製品の製造打切後も10年間補修用性能部品（※1）を保管して修理、部品の販売を行っております。修理サービスも10年間対応可能（※2）となります。そのため、長年ご愛用していただいていたお気に入りの製品が万が一故障した際でも、修理することにより引き続きご使用していただけます。

「修理」か「買い替え」か選択肢が広がることでお客様のご期待にお応えし、また一つの製品を長く使い続けていただくことにより、環境配慮の面からも持続可能な社会の実現に貢献したいと考えております。

※1 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。弊社は更なるサービス向上を目指し、2019年5月30日より、補修用性能部品の保有期間を製造打ち切り後全製品10年に延長いたしました。

※2 保証期間を過ぎている場合は有料修理にて対応いたします。

※材料調達や設備状況等によっては10年未満で供給できなくなる場合があります。

URL | <https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/about-us/after-service/>



③廃棄予定の内なべを活用した製品開発

部品保有期間が過ぎた廃棄予定の内なべを、災害時にも役立つ野外炊飯器「魔法のかまどごはん」の業務用モデルにおいて活用。電気やガスを使わずに、かまど下部の2つの穴に交互に新聞紙を入れ、火をつけることの繰り返しで、「炊きたて」のごはんを炊くことができる製品です。

アウトドア施設や公共団体向などで青少年教育や防災訓練・地域の防災備蓄といった機会にご活用いただいております。

URL | <https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/product/rice-cooker/kmd-a>
※画像および上記URLは一般向けモデル。

